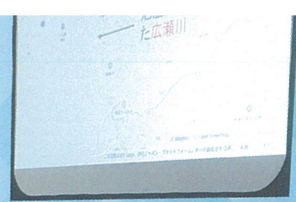


小島地区 防災デジタルマップ完成

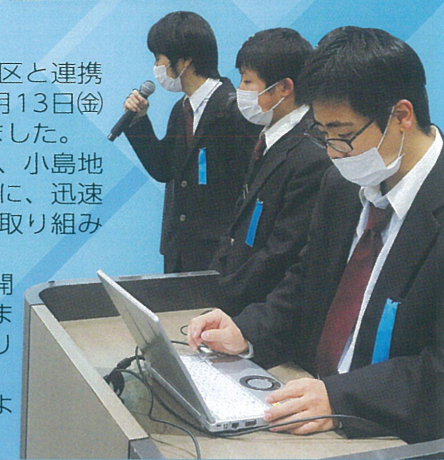


今年度、テレビや新聞でも大きく報じられた、小島地区と連携した防災デジタルマップ作成の取り組みです。先日1月13日(金)に無事マップが完成し、小島地区の方々に贈呈を行いました。

生徒たちは4回にわたるフィールドワークを通して、小島地区の台風被害の現状を知り、また同じ災害が起きた特に、迅速に避難してもらいたいという思いで、マップの作成に取り組みました。

この取り組みが評価され、12月11日(日)、郡山市で開催された県の防災イベント、「そなえる・ふくしま2022」への参加が決まり、代表生徒がステージで取り組み状況の発表を行いました。

防災デジタルマップは、川俣高校ホームページより、いつでも閲覧可能です。



2年生 修学旅行

日光東照宮にて



10月12日(水)～14日(金)の2泊3日で、2年生の修学旅行が行われました。

コロナ禍の影響で、行き先を関西から栃木県の日光・那須方面に変更しました。生徒たちは日光東照宮を見学したり、那須ハイランドパークで遊んだり、楽しい思い出ができました。

全 PTA 全国大会に参加して

石川県・セシオン・いしかわ総合スポーツセンターで開催された全国大会



8月25日(木)～26日(金)に開催された、全国PTA石川大会に、オンラインにて参加しました。

分科会「教育に科学的根拠を」慶応大学教授・中室牧子氏の講演を視聴し、PTA庶務の渡辺一由さんは、「親は、子供たちの視野を広げ、他人との比較でなく、自分の過去との比較に価値を持たせる手伝いをするのが大切だ」と感想を述べていました。

の講演を視聴し、PTA庶務の渡辺一由さんは、「親は、子供たちの視野を広げ、他人との比較でなく、自分の過去との比較に価値を持たせる手伝いをするのが大切だ」と感想を述べていました。



体験・探究型普通科校として

校長 半谷 佳之

令和4年度より、川俣高等学校は普通科校としての歩みを進めております。

地域の方々と手を取り合い、地域と共にある学校としての強い自覚の下、本校では、以下による様々な体験・探究型学習機会を取り入れることにより、生徒の皆さんの興味や関心を高め、進路希望の実現を図っております。

昨年度末に閉科となりました機械科碗を引き継ぐために、普通科の皆さんが実際に機械に触れ、世界に一つだけのものづくりができる選択授業を設けたり、プレゼンテーション能力、及び社会に適應できる能力の一層の向上を図ることができるよう、特にコンピュータに多く触れる授業を取り入れるなどしております。また、地域の方々とのところに赴いたり、地域の方々を本校にお招きして指導を受けるなど緊密な連携の下、地域の方々との交流を深め、地域社会についてよく知り、地域に貢献する意識の一層の深化を図ることも大切なことと考えております。加えて、川俣町、近畿大学や立命館大学、地元企業や農家の方々から、多岐にわたる分野の解説を受けたり、様々なプロジェクト体験ができる機会も多くいただいております。

こうした本校において、その新たな歴史を作るのは、本校に在籍する生徒の皆さん、そして現在の中生や小学生の皆さんです。生徒の皆さんの人材育成を、人材育成と考える本校では、生徒の皆さんに対してより良い教育活動を提供できるよう、教職員も学びます。

令和4年度において、様々な御支援をいただきましたこと、感謝申し上げます。また、令和5年度においても、川俣高等学校をどうぞよろしく願いいたします。



PTA会長 渡 邊 忠 一

令和4年度、会長を務めます、渡邊です。日頃からPTA活動に対しましての御理解と御協力に感謝申し上げます。

川俣高校は、普通科校として新たな歩みをスタートしましたが、今年度もコロナ禍の関係で、多くの制約を受けることとなりました。

その中、「第71回全国高等学校PTA連合会大会2022石川大会」が開催され、オンラインで参加しました。記念講演では、(株)ファミリーマート顧問・澤田貴司氏の『やりたいことをやる』を視聴し、「利己」を「利他」に変え、人のために尽くすことが自分自身に返ってくる。「何が正しいか」を理解し、実行し、「自分から率先して背中を見せる」というお話を伺いました。このことを、生徒の皆さんには実行してもらい、自分の成長のために考え、行動してほしいです。苦しくて厳しくても、大切な仲間と共に、楽しい高校生活を精一杯送って下さい。

最後になりますが、生徒のためにご尽力されておられる、校長先生をはじめ諸先生方、保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともPTA活動に御支援、御協力をお願い申し上げます。